

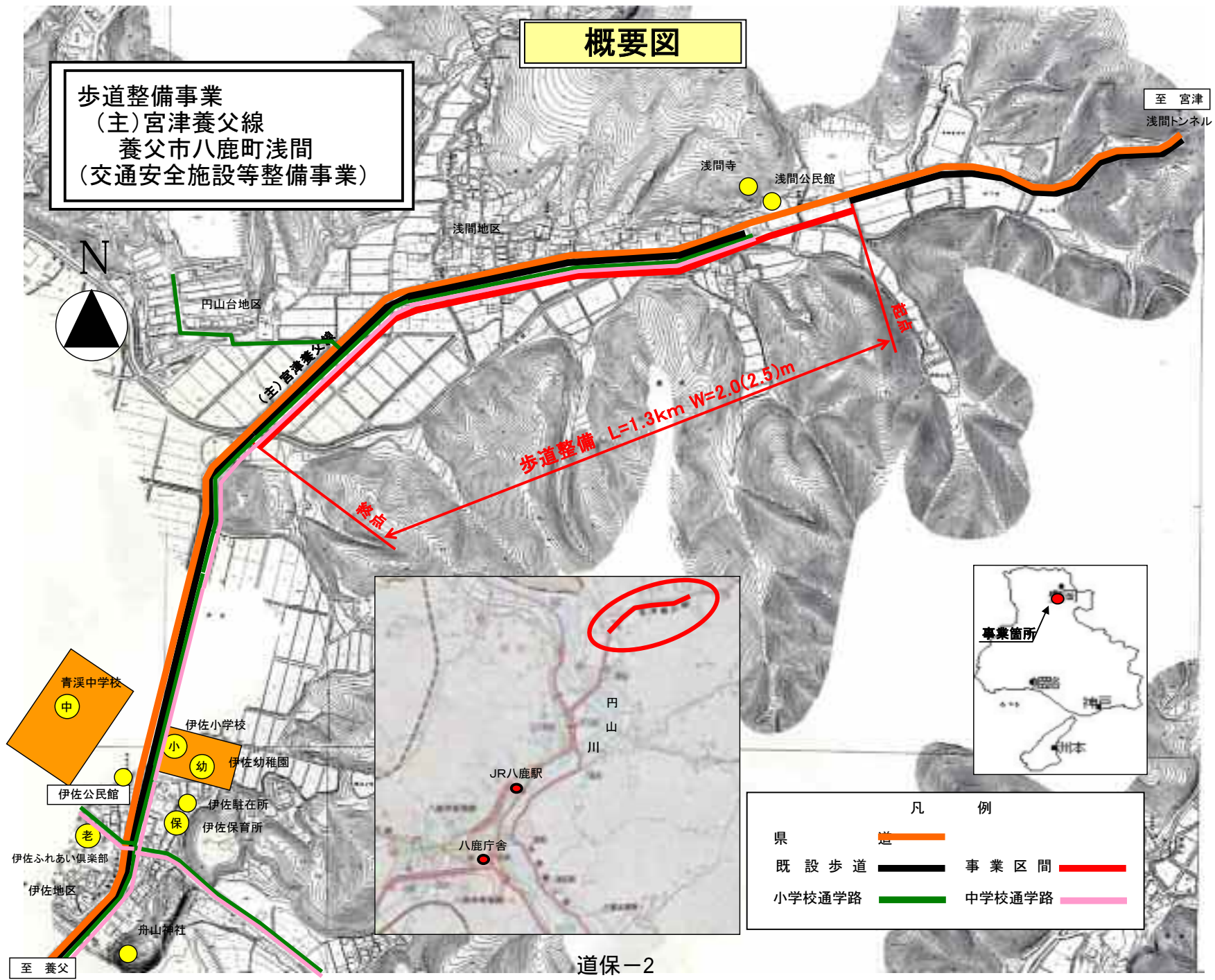
投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 藤井 良啓 (交通施設係長 中尾兼人)	内線	4389 (4399)
-----	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 3.0億円 (内用地補償費 約1.0億円)
		交通安全施設等整備事業 (主) 宮津養父線	養父市八鹿町浅間		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
養父市八鹿町浅間				平成21年度	平成24年度
事業目的			事業内容		
<p>自動車の交通量が多く大型車の混入率も高い道路で、小・中学校の通学路であるが一部歩道が狭隘及び整備されていないことから、危険な状況となっている。そこで、歩道の整備を行い、地域の安全な暮らしを守る。</p>			<p>歩道整備 (片側) L = 1300m W = 2.0m (2.5) m 現況 歩道 0.8m (負担割合 国1/2 県1/2)</p>		
評価視点					
(1)必要性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該区間は、豊岡市出石町と境界にある浅間トンネルの西側に位置し、養父市中心部と出石、宮津と連絡する路線であることから、自動車交通が多く、特に観光バスなどの大型車が多数通行する。 ・ 伊佐幼稚園、伊佐小学校、青溪^{せいけい}中学校の通学路に指定されているものの、現況歩道は0.8mと狭く、冬期には積雪によってさらに接触が懸念される危険な状況となる。 ・ また、中高生が自転車通学に利用している。 ・ 自動車交通量、歩行者交通量が多く、大型車混入率(16.3%)も高い。(自動車 7,214台/日、歩行者 115人/12h、自転車 11台/12h) ・ 死傷事故率(14.6人/億台km) 			
[周辺状況]					
[交通状況]					
[交通事故]					
(2)有効性・効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・ この歩道整備により、豊岡市出石町から養父市への一連の歩道が完成し、自転車歩行者の安全が確保できる。 ・ 住民参加による交通安全総点検を実施し(H20.4.21)、歩道の必要性について地域の理解を得ている。 ・ 事業説明会やアンケート調査を行い、地元と合意形成を図っており、円滑な事業執行環境が整っている。 			
[効果]					
[事業執行環境]					
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道部の透水性舗装により、雨水を地下に還元するとともに道路交通環境の改善が図れる。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 現況歩道は狭く、特に冬期積雪時は非常に危険な状況であることから、早期の対策が必要である。 ・ 地元のPTAから当該区間の通学路整備に対する要望あり。 			

概要図

歩道整備事業
 (主)宮津養父線
 養父市八鹿町浅間
 (交通安全施設等整備事業)



歩道整備 L=1.3km W=2.0(2.5)m

終点

起点



事業箇所

凡 例	
県道	
既設歩道	
小学校通学路	
事業区間	
中学校通学路	

- 青溪中学校 (中)
- 伊佐小学校 (小)
- 伊佐幼稚園 (幼)
- 伊佐公民館 (老)
- 伊佐ふれあい倶楽部 (老)
- 伊佐地区 (老)
- 伊佐公民館 (保)
- 伊佐駐在所 (保)
- 伊佐保育所 (保)
- 舟山神社 (老)



道保-2

至 宮津
浅間トンネル

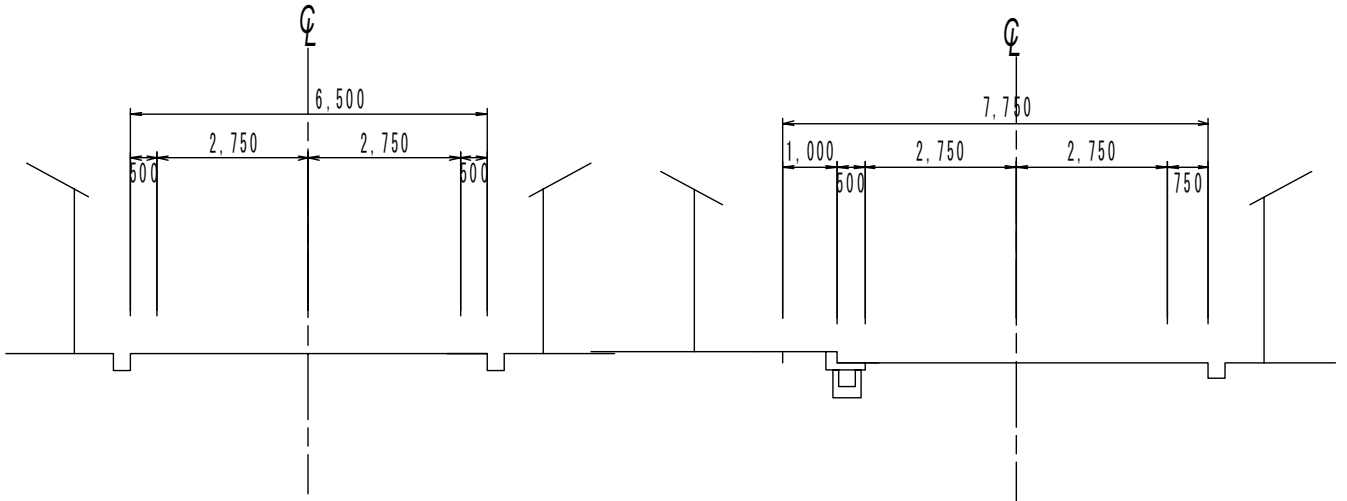
至 養父

標準断面図

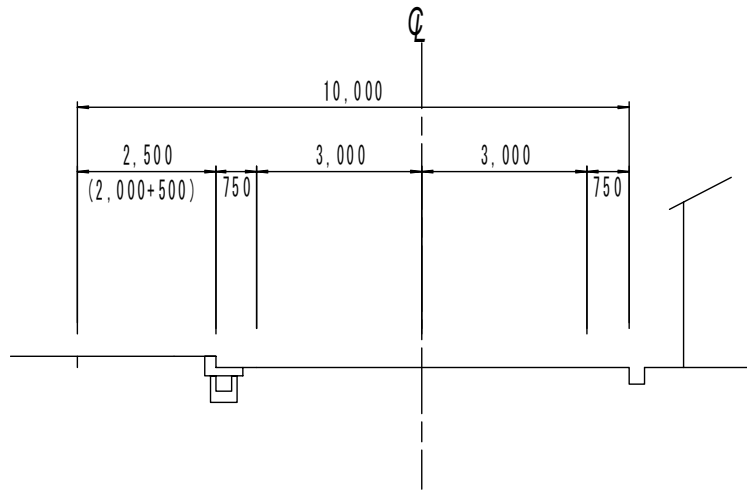
整備前

歩道無し

歩道有り



整備後



事業スケジュール

	工程					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26
測 試	_____					
用地補償	_____					
工 事	_____					

通学現況写真



積雪状況写真



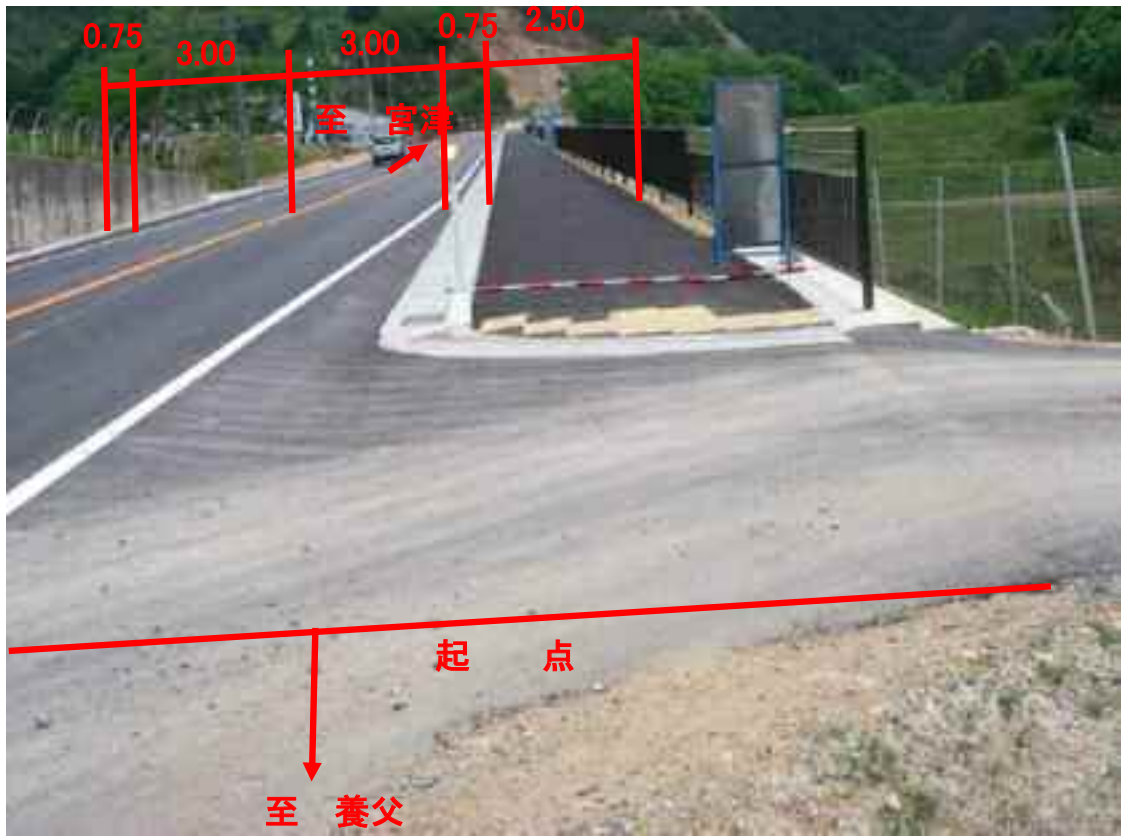
積雪状況写真



現況写真(起終点部)



現況写真(起点側道路改良事業状況)



現況写真(終点側既設歩道状況)

